



平成27年 9月 2日 NO・57

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
【ホームページで、カラー版が見られます】
 (検定答え①44市町村・②全国11位)

見えないところに真心を尽くす

体育祭の練習が終わった後、各係とも、当日の準備に追われている。

三十一日の放課後、保健室を覗いてみると川上恵子先生、小口沙織先生を中心に、各係用のリボンの作成を行っていた。

先生方や、近くの友達と楽しく会話をしながら作業を進めている。細かい作業であるが、みんな作業が丁寧で、心がこもっていると感じた。

また、校庭に出てみると、稲田直人先生がグラウンドにマークを付けるための用具作成をしていた。近くには、数名の男子生徒の姿も見られた。

「係活動かい？」
 と、たずねると、
 「いや、ボランティアです。」
 と、答えてくれた。

どうやら、一人で作業をしている稲田先生に気付き、作業の手伝いを買って出てくれたらしい。

こちらも稲田先生や、友だち同士で会話をしみながら、マーカーづくりをしていた。

これらの作業で作られたモノは、当日は脇役であり、あまり目立つモノではない。

中には、まったくその存在に気づかず体育祭を終えてしまう人もいるかも知れない。
 しかし、仮に人に気づいてもらえなくとも、
 『見えないところに真心を尽くした』
 という事実は残る。

これぞ、「常中魂」
 各係を含め、生徒諸君、見えないところで手を抜かない姿、すばらしい。



校歌をどう歌うかが問われる

現時点で、校歌を歌う歌声が小さい。藤枝啓子先生の熱のこもった指導で、最初と比べたら数段と良くはなっているが、まだ合格ラインとはいかないようだ。

「どうして、声がでないの？」と藤枝先生が問うと、
 「恥ずかしさがあるから」と、君たちは答えてくれた。

これは、そのとおりなのだろう。
 では、生徒諸君に問いたい。

「君は、一生懸命歌っている友を、笑うか？」
 おそらく、一生懸命に歌う友を笑うという者は一人もいないはずだ。

『人は、自分自身から逃げてはならない時がある。それは、自分の心のどこかが、友達の、頑張りたいという夢を、笑ってしまっている時だ。』

「おい、大きく息を吐いて、歌おうぜ！」
 今こそ逃げずに、互いに声をかけ合う時だ。

バックの並びに表れる常中魂 (整然と並べられた美しさ)

教室の前に、バックが整然と並べられていた。これなら廊下を通る人の邪魔にもならない。人への気遣いが感じられて、実にうれしい。これも常中魂。



いばらきっ子郷土検定

- ①2014年9月1日現在、茨城県の市町村数はいくつでしょう。
- ②2014年4月1日現在、茨城県の総人口は全国第何位でしょう。

